

2018年9月23日（日・祝） 1954年3月1日・米ビキニ水爆実験被災事件

久保山愛吉氏追悼焼津行動に参加しましょう！

I. 墓参行進 浜当目・弘徳院へ（9:30～10:10）

◆JR焼津駅（集合9:10・出発9:30）

II. 墓前の誓いのつどい（10:20～11:30）

◆弘徳院にて、献花・墓参

III. 9・23 焼津のつどい

（13:00～16:30 *開場12:30）

【会場】焼津公民館（焼津市役所アトレ庁舎3階）大会議室
焼津市本町5丁目6-1 焼津市役所より徒歩10分
焼津公民館駐車場（使用可能）

【内容】

◆講演 **梶原 渉氏**
（日本原水協・「原水協通信」編集長）

演題 **北東アジア情勢の進展と
核兵器廃絶運動の展望**

◆ドキュメンタリー映画上映
「西から昇った太陽」予告編

◆特別発言 ヒバクシャ国際署名の取り組みなど

◆会場からの自由発言



久保山すず

久保山愛吉

ヒバクシャとその遺族が生きているうちに、
一発残らず核兵器をなくしてください

原水爆の被害者は、私を最後にしてほしい

人類最初の水爆実験の犠牲者、第五福竜丸の無線長久保山愛吉さんが1954年9月23日に亡くなられて64年目の秋を迎えます。

核兵器禁止条約が採決されて1年、ICANのノーベル平和賞受賞、朝鮮半島の非核化をめざした南北・米朝首脳会談の開催など世界の核兵器廃絶を求める声は大きく進展してきています。

しかし、核兵器禁止条約は、50カ国以上の国が批准すれば発効されることになっていますが、核保有国の巻き返しなどで、批准した国は8月15日現在14カ国にとどまっています。その打開には、核保有国とその同盟国でのこれからの運動が大事になっていきます。とりわけ、唯一の被爆国である日本での運動がきわめて重要です。

その中で、被爆者が提起した核兵器廃絶に向けた「ヒバクシャ国際署名」の取り組みが力を発揮しています。今年4月28日、ヒバクシャ国際署名をすすめる静岡県連絡会が結成され、すでに15万筆を超える署名が寄せられるなど運動は大きく前進してきています。

9・23焼津行動は、久保山愛吉さんをはじめ被曝の影響で亡くなられた第五福竜丸乗組員の方々のご冥福をお祈りし、原水爆禁止世界大会の諸決議を實踐し、「ヒバクシャ国際署名」を大きく広げ、日本政府に核兵器禁止条約への加盟を促し、2019年3・1ビキニデーの成功をめざすとりとくみとして行なわれます。多くのみなさんの参加を心から訴えます。

よびかけ

〈会場案内図〉



主催：2018年3・1ビキニデー静岡県実行委員会

【連絡先・お問い合わせ】

原水爆禁止静岡県協議会 ☎054-253-1854 静岡県原水爆被害者の会 ☎054-364-4189
静岡県労働組合評議会 ☎054-287-1293 静岡県生活協同組合連合会 ☎054-253-5987